

平成27年度 民家野外博物館「川崎市立日本民家園」 目標と評価シート

■日本民家園の使命

日本民家園は、市民の文化・学術・教育の向上に寄与するため、つぎのを行います

1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます
2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います
3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します
4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします

※本文各項の「対象使命」欄で太字になっているものが、業務に該当する使命。

※分担欄の「市」は川崎市、「指」は指定管理者の事業。「市・指」は共同で行うことを示す。

■外部評価の目的

(2009.3日本民家園協議会資料より抜粋)

1. 日本民家園の使命を果たすために、園の充実発展に繋がる改善案を探す
2. 園の独りよがりな運営にならないよう、外部の方(利用者・有識者など)の客観的・率直・公平・多様な意見を聞く
3. 評価項目(年度当初案と結果)を公表することにより、広く日本民家園の業務を周知するとともに、実行性を高める
4. 評価を毎年継続実施する中で、前年度の評価や改善点を次年度以降に繋げる
5. 1～4を通じ、職員・協力者(市民)・関係業者のモチベーションを上げる

■評価

つぎの3段階とする。

A: 目標を充分達成し成果を上げている

B: 目標を概ね達成している

C: 目標を達成しておらず改善が必要である

■添付資料

1. 古民家保存修理工事事業計画
2. 民俗部門整備計画
3. 民俗部門展示出版計画
4. 民家園叢書一覧及び計画
5. 大岡文庫関係出版物一覧及び計画
6. 総合防災整備事業計画
7. 事業報告
8. 評価者及び評価経過

■目次

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

(2) 展示及び教育普及活動の充実

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) ミュージアム・マネジメントの確立

(2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

【収集・保存・整理】【調査研究】【情報発信】

【展示】【教育普及】

【総務】

【情報発信】

【管理】

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

対象使命	<p>1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。</p> <p>2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。</p> <p>3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。</p> <p>4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。</p>
-------------	---

現状： 東日本における江戸時代の古民家を中心に移築復原した。長期計画を立て、緊急度の高いものから補修工事を実施している(資料1)。日常的な維持管理としては、燻煙と清掃、巡回警備を実施している。民俗資料については整理を継続的に進めて目録を刊行(資料2、3)、建築関連資料についても大岡實博士文庫の整理を進め、目録や民家園叢書の刊行を行っている(資料4、5)。また、総合防災施設設備事業・耐震事業(資料6)も進行中である。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H27年度計画	H27年度事業実績	指標	今後の課題
①文化財建造物維持管理の推進	屋根補修、その他補修工実施。保存修理における伝統技術継承。燻煙と清掃の定期的実施。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容を複数名で検証、遂行できる体制の確立。	市・指	水車小屋・三澤家屋根葺替、その他古民家・施設小破修繕。計画に基づき燻煙・清掃の実施。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容について外部有識者の助言を得る。	水車小屋屋根完了、古民家屋根補修・水車ポンプ取替、ベンチテーブル補修、燻煙・清掃の実施。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容について外部有識者の助言を得た。	計画に対する達成度	岩澤家葺替予算確保(28年度付かず)。三澤家葺替工事開始(27年度入札不調)。
②収蔵資料整理の推進	26年度に各民家寄贈資料の整理完了。川崎市域の資料に着手。収蔵環境の改善。耐震性の低い民家での屋根裏収納一部解消。大岡資料整理実施。	市	耐震工事に伴い、山下家屋根裏資料移動作業継続、三澤家屋根裏資料移動。耐震工事に伴う民具収蔵スペース設置予算要求。大岡資料整理。企画展示機能移設検討。	山下家屋根裏資料整理継続。民具収蔵スペース調査(学校空き教室)。大岡資料の整理を実施。	計画に対する達成度	民具の仮収蔵スペースの確保。収蔵庫の建設。
③総合防災体制の整備	消火設備・自火報・ITV・炎感知器の新システム稼働。耐震診断・補強設計・補強工事の実施。	市	三澤家耐震補強工事(～H28)。山下家耐震補強実施設計。耐震診断予算要求。総合防災旧設備撤去工事設計。新防災システムの円滑な稼働・保守。	山下家耐震補強実施設計完了。総合防災旧設備撤去工事設計完了。新防災システムの円滑な稼働・保守実施。	計画に対する達成度	三澤家耐震補強工事開始(27年度入札不調)。耐震診断・補強設計予算確保。
④調査・収集・研究の推進	エリア・内容を広げた旧所在地調査と、市域の暮らし調査着手。大岡資料調査実施。博物館団体・研究者等との交流推進。(註1)	市	沖永良部の高倉聞き取り調査実施。大岡資料調査実施。野外博物館団体・研究者等との交流。	沖永良部島高倉の調査実施。大岡資料整理実施。民家集落施設協議会例会出席。	計画に対する達成度	調査研究活動の継続。
⑤学芸活動の成果公表	27年度に古民家資料目録完結。28年度以降、民俗調査報告書刊行。大岡資料目録・民家園叢書の編集・刊行。	市	『目録21 沖永良部の高倉他』、「昔話展」「育児道具展」図録、『叢書 民家園草創期の記憶6』刊行。カラー版常設展図録図版準備開始。	『目録21高倉他』『むか～むかしの道具たち』『家で生まれる家と育つ』『民家園草創期の記憶6』『建築史家大岡實の建築』(増刷)刊行。常設展図録編集案作成。	計画に対する達成度	調査報告書の継続的刊行。

外部評価 評定意見	<p>入札不調という外因的な理由によるが、文化財建造物の保存修理工事が計画通りに実施できず、民家園予算の中でも大きな割合を占める重要事業が未達成という事態は残念である。耐震補強工事は、文化財建造物の保存のみならず、入園者の安全に直結するものである。工事の遷延が繰り返され、中長期の工事計画自体が大きく狂うことのないように、関係部局との調整を密にして、的確な計画実施が図られるよう、一層の努力を強く求めたい。資料の調査研究とその成果の公表の達成度は、計画以上のものであり、大いに評価できる。民具の収蔵スペースの確保の課題は、当面は学校施設を転用する方向で準備が進められているが、将来的には民家園内に条件の整った収蔵庫が設置され、抜本的な解決につながるよう、検討の継続を求める。なお、学校での資料保管を機に、収蔵する民具の学校教育への積極的な活用も検討すべきである。</p>	B
----------------------	---	----------

註1

長期目標として「民家園が民家保存継承に関するソフト・ハードの情報拠点として情報発信が可能となるよう、野外博物館団体・建築技能者・研究者・行政機関・民家所有者・民家愛好家などの支援・協力を得て情報拠点としてのネットワーク形成に寄与する」ことが挙げられる。

(2) 展示及び教育普及活動の充実

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：古民家を野外展示するとともに、民家の構造や暮らしについては常設展示室で、各古民家の暮らしについては企画展示室で順に紹介している(資料2,3)。古民家内では各地域の民具のほか、年中行事の展示を行っている。このほか、民家の補修工事や囲炉裏の火焚きなども展示の一環としてとらえ、作業風景が見られるよう工夫している。普及活動としては、学習講座・体験講座・お茶会・昔話等を実施しているほか(資料7,8)、学芸員実習や小学校の体験学習の受入も行っている。民家園の教育普及活動を支える炉端の会・民具製作技術保存会とは協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H27年度計画	H27年度事業実績	指標	今後の課題
①建造物等資料の公開展示の仕方の工夫	川崎市域の資料を活用し、さわれる展示コーナー設置。古民家内展示整備(生活展示)。各棟解説板を全棟に整備。	市	古民家内展示の継続的整備体制確立。民家展示の一環として工事見学会の開催。各棟解説板製作(全棟完成)。音声ガイド各方式調査。さわれる展示試行。	各棟解説板全棟完成。音声ガイド調査・予算措置。屋根工事中工事内容展示。さわれる展示として体験コーナー「こみんかなんだらう？」開催。工事見学会は悪天候により中止。	計画に対する達成度	音声ガイドの導入。本館第2展示室撤去に伴う古民家内の展示整備。
②企画展示の充実	26年度に各古民家をテーマとした展示完了。引き続き民家園の特性を活かしたテーマ展示開催。企画展示室再整備。	市	プレ50周年特別展「昔話展」「育児道具展」開催。50周年記念展(H29)企画準備。本館企画展示室仕様検討。	企画展「昔話展」「子供展」開催。H28企画展「古民具展」、H29企画展企画案作成。本館展示室改装予算措置。	企画展示室入室者数	企画展示の長期計画策定。
③各種講座の充実	企画展示に合わせた講座開催。建築の見方に関する講座開催。建築に関する体験講座検討。	市	「昔話展」「育児道具展」関連講座、各種体験講座、民家の見かた調べかた講座開催。子供対象のワークショップの充実。	昔話展関連ワークシート「昔の道具探しカード」配布。子供展関連講座「子供を育む家と村」、こみんかなんだらう関連企画「昔の道具体験」、民家の見かた調べかた講座開催。	受講者アンケート満足度(註2)	新規受講者層の開拓。子供向け、親子向け企画の充実。
④建物解説・ガイド・図書コーナーの充実	ガイド担当者のスキルアップ。原家図書コーナー充実。	市	炉端の会学習会・研修の充実。原家図書コーナー蔵書更新と広報周知。	炉端の会学習会・研修実施。原家図書コーナー蔵書追加。	解説・ガイド参加者数(註3)	学習会・研修会の実施方法改善。
⑤催し物の充実	民家の魅力を引き出す催し物開催。旧所在地交流事業等実施。指定管理者の自主事業との連携。	市・指	お茶会・芸能公演・民具製作実演・昔遊び・昔話・年中行事・夜間公開等の開催。旧所在地交流事業(南砺市・甲州市)実施。指定管理者自主事業(古民家カフェ、大和なでしこ講座、ベーゴマ大会)の継続実施。家族連れや若い世代集客のため指定管理による新たな自主事業開催。	お茶会・芸能公演・民具製作実演・昔遊び・昔話・年中行事・夜間公開等の開催。小正月行事を当日自由参加型に変更。月見行事を親子参加型に変更。旧所在地交流事業(南砺市・甲州市)、指定管理者自主事業(古民家カフェ、大和なでしこ講座、ベーゴマ大会)継続実施。	参加者数(註4) 無料入園日 入園者数	事業の質の向上。集客性の低い事業の見直し。

⑥伝統工芸館の充実活性化	民間発想を活かしたサービスの向上と知名度アップ。	市・指	藍染新商品の開発。ワークショップの開催。展示スペースの整備と券売コーナーの改善。	干支やひなまつりのタペストリー、お散歩手袋など新商品開発。券売周り整備。2階休憩室に講座用テーブル・椅子・カーテンを新規設置。	体験者数	工芸館スタッフの染色技術向上のため、外部研修等を検討。
⑦学校との連携の強化	小学校の体験学習・社会科見学、中・高・大学の利用、教職員向け研修の利用促進。	市	体験学習・社会科見学・博物館実習の受入。ワークブックの改訂。	体験学習・社会科見学・博物館実習受入。	見学校数、体験実施校数	ワークブックの改訂。
⑧市民協働による事業の展開と民家園改善の推進	民技会への活動支援。催し物に伴う市民団体との連携強化。協力者会議、協議会の開催による運営の改善推進。	市・指	協議会(7月から社会教育委員会議民家園部会)、協力者会議の開催。開園50周年事業具体化。民技会への活動支援。市民団体(昔話等)への支援。	社会教育委員会議民家園部会へ組織変更。協力者会議開催。50周年事業計画策定、予算確保。民技会・昔話団体等活動支援。	計画に対する達成度	50周年事業における協働内容の具体化。
⑨ボランティア団体の活動支援と育成	研修機会の提供。諸活動の支援。自主性・多様性を持った活動の促進。	市	自主的活動の支援。ボランティア講座開催。	こども民家園検定・草バツタで遊ぼうを炉端の会と協働実施。ボランティア講座実施、16期炉端会員加入。炉端の会20周年記念誌刊行。	床上公開棟数・利用者数、炉端活動延人数	炉端の会会則・細則の整理。

外部評価 評定意見	概ね事業計画通りに事業が進められており、参加者からも好評を得ている。今後も参加者の意見や入園者の動向等を踏まえて所要の改善を図りながら、引き続き事業を維持発展させるよう期待する。新たな展示手法の導入や、本館展示室の整備計画の進捗等は評価できる。学校教育に関連する民家園の利用に関し、より効果的な学習につなげるための方策を、計画通りに講ずるべきである。園と連携した市民団体の活動の充実は、民家園の誇れるもののひとつであり、その成果を広く発信することも検討すると良い。	B
--------------	--	---

- 註2 ①民家園講座「講座の内容はどうか?」の質問で、「非常に良かった」「良かった」「普通」「あまり良くなかった」の4項目のうち、「非常に良かった」「良かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
 ②体験講座「参加してどうか?」の質問で、「面白かった」「まあまあ」「つまらなかった」の3項目のうち、「面白かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
- 註3 民家解説・展示解説・園内ガイド・団体ガイド(英語含む)利用者数。(P8統計参照)
- 註4 事業報告(社会教育要覧)の教育普及事業一覧から講座・園内解説・学校体験・床上公開・民家園まつり・多摩区民祭を除いた事業の参加者数。(P8統計参照)

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) ミュージアム・マネジメントの確立

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
------	---	---

現状: アンケートで来園者ニーズを把握するとともに、事業評価を実施し、運営の見直しを行っている。また、H25年度より指定管理者制度を導入し維持管理(文化財を除く)・広報業務を主に指定管理者が、学芸等業務を市が実施している。危機管理については、防災訓練を実施、危機管理マニュアルを更新している。人的な資質向上をめざして各種研修を実施、年間パスポートの販促等、リピーター確保のため工夫を重ねている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H27年度計画	H27年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者ニーズの把握	アンケートの継続実施。実施・公表方法の検討。	市・指	アンケート継続実施、結果反映による運営改善。回答として「よくある質問」を増補。	アンケート継続実施。民技会「よくある質問集」作成、公開。	来園者アンケート満足度(註5)	「よくある質問」の継続的増補。 アンケート内容・方法改善。
②外部評価の継続と活用	事業評価制度の活用。	市・指	評価制度の継続活用。	評価制度継続実施。平成26年度評価を活かした運営。	計画に対する達成度	次期中期目標の策定。
③効率的な運営	指定管理制度導入にともなう運営管理体制の確立と質的向上。	市・指	事業実施にあたり、市と指定管理者との協力体制の強化。	市と指定管理者との合同企画(草花遊び、ワイン講座)実施。	計画に対する達成度	協力体制の継続。
④危機管理体制の整備	危機管理マニュアルの改良と運用。防災訓練の内容充実と継続の実施。	市・指	危機管理マニュアルの随時更新。防災訓練4回実施(全体訓練・部分訓練・ボランティア合同訓練)。生田緑地内他施設との情報共有、合同訓練。	危機管理マニュアルを随時更新。朝礼時マニュアル読み合わせ。緑地内他施設との情報共有、合同訓練。そば屋限定訓練。神奈川シェイクアウト訓練。模擬囲炉裏消火訓練。多摩消防署合同総合災害訓練。	計画に対する達成度	危機管理マニュアル更新。訓練全体の見直し。
⑤経済的な自立度	入園料など収入確保による安定的運営。(註6)	市・指	市の収入増を図るための方策検討。目標指標16%。有料入園者を増やすための工夫検討。	有料入園者数の増加(前年比)。歌舞伎観覧料を一律700円から一般1000円、学生・子供500円へ変更。指数15.9%。	歳出に占める歳入の割合(註7)	広報の強化(人員の配置)。
⑥組織と職員の資質向上	園内の情報共有化。市専門職の長期確保。各職員の資質向上。(註8)	市・指	市と指定管理者との情報共有化。専門性の高い職員の継続確保策検討。定期的研修の実施と受講を後押しするための配慮検討。	神奈川県博物館協会に加盟。文化庁主催研修、社会教育課主催研修、生田緑地3施設合同研修への職員参加。県博物館協会主催研修に指定管理者も参加。	計画に対する達成度	市専門職の長期確保。
⑦来園者確保	入園者数 年間11万人。リピーター(年間パスポート)増。	市・指	目標115,000人。年パス利用者4800人。	入園者数118,887人。年パス利用者4,387人。	入園者数、ハイスポート売上枚数・入園者数(註9)	広報の強化。部分閉園時のサービスの質の確保。

外部評価 評定意見	職員の資質向上を目指して積極的に外部研修へ派遣したり、危機管理対応訓練に新手法を導入して積極的に実施したりして、その成果を民家園運営に反映させている点は大いに評価できる。指定管理者制度を導入して3年目となり、業務の進め方が安定してきたものと考えられる。民家園と指定管理者とのより一層の連携を図りながら、効果的、効率的な運営がなされるよう期待する。入園者数等の定量的な目標は概ね達成できた。引き続きこうした基調を維持できるように期待する。近年増加している外国籍の入園者について、適切な対応や効果的な広報のために、詳細に把握する方策を検討することが望ましい。利用者の質問・意見に対する民家園側の答えをホームページで示すことで、民家園への理解や利用につながるような方策の実施を求める。	B
--------------	---	---

註5 「全体の印象は？」の質問で、「よかった」「つまらない」「どちらとも言えない」の3項目のうち、「よかった」と回答した人の割合。(P8統計参照)

註6 「民家園の魅力高める」ことを追求するのが入園者を増やす一番の方法であり、協力者会議・協議会などで議論を重ね実現化を模索している。

註7 H25年度以降⇒歳出＝経常経費の決算額(指定管理料・人件費含む、工事等特殊経費除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入等(国庫補助等除く)
H24年度まで⇒歳出＝経常経費の決算額(修理工事・総合防災等特殊経費、人件費除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入等(国庫補助等除く)

註8 専門職の配置のあり方の検討が必須である。

註9 入園者数は指標の一つであるが、入園者増だけで良いのではなく、熱心な入園者を評価する指標を検討する。

(2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状： インターネットによる広報、地域団体・企業と連携した広報を展開している。また外国人誘致にも力を入れ、リーフレット・ホームページの多言語化、内容の拡充を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H27年度計画	H27年度事業実績	指標	今後の課題
①民家園の魅力発信	民活効果による効果的な情報発信。インターネットによる情報発信強化。市内への周知、国内及び海外への発信強化。	市・指	広報掲示板等を活用した市全域(特に南部)への周知強化。ニュースリリース、取材受入等情報発信力強化。新たな広報先の確保。旧所在地との連携による情報発信。	広報掲示板、区役所モニター、登戸駅電光表示で催し案内。報道機関への投げ込み。ブランド戦略担当との連携。天気予報中継を2回受入。南砺市、甲州市との交流事業を通じての旧所在地への広報。市民館、図書館などへの周知継続。	HPアクセス数	効果的な広報の推進。新たな広報先の確保継続。
②外国人向け広報とサービスの充実	海外の民家博物館へのリーフレット配布。外国語リーフレットのHPアップ。ドイツ語リーフレット作成。英語ガイド充実。	市・指	空港・各国大使館・外国人コミュニティ等へのリーフレット配布。外国版リーフレット活用による広報強化。東南アジア言語への対応検討。外国語音声ガイド導入準備。英語アナウンス原稿作成。	空港・駅・観光案内所等へリーフレット配布。タイ語リーフレット導入準備。多言語音声ガイド予算措置。中国語・台湾語・英語を中心に羽田空港へアプローチ実施。リーフレットデザイン見直しによる印刷費削減。	外国人入園者数 英語版HPアクセス数	リーフレットを順次新タイプへ変更。
③優待サービス拡充と周知	年間パスポート利用促進。生田緑地複数館割引、駐車場割引、地元商店街との連携など割引サービスの拡充。	市・指	年間パスポートキャンペーン継続実施。学校向け優待券発行継続。生田緑地複数館割引、駐車場割引、地元商店街との連携など割引サービスの周知。	年パスキャンペーン4・5・10・11月実施。3館共通のサービス向上に向け割引制度整備、年間パスポートや無料の入園者に対する入園証明書の発行。	計画に対する達成度	優待サービスの工夫・充実。
④観光客の積極的誘致	経済局商業観光課・観光協会との連携。民活効果による観光業界へのアプローチ。	市・指	経済労働局商業観光課・観光協会との連携による催し、広報物作成。観光業界へのアプローチ。	商業観光課と連携し、空港デジタルサイネージへのPR映像、観光情報展出版ブースへのリーフレット掲出、台湾語リーフレット作成。「新・かわさき観光振興プラン」における生田緑地観光強化策反映。	計画に対する達成度	今後も連携を継続。
⑤生田緑地の情報発信	民活効果による生田緑地全体の広報活動強化。ビジターセンターでの広報強化。	市・指	ビジターセンターでの緑地広報強化。生田緑地HPにおけるSNSでの情報発信。デジタルサイネージ更新。区民祭等での関係機関との連携。自主事業広報物充実定着。緑地催し物カレンダー・ポスター改訂。	緑地HP・SNSでの情報発信。デジタルサイネージ更新。狛江市民まつり、多摩川マラソン、こどもの国50周年等に出展。緑地イベントガイド、3館ポスター作成。サマーミュージアムで関係機関・協力企業と、ピクニックデーで多摩区役所と連携。	計画に対する達成度	効果的な情報発信の推進。民家園フェイスブック検討。

外部評価 評定意見	外国人向けの広報やマスコミへの露出の機会を得るなど積極的な広報を行ったことが実を結び、新たな入園者の獲得等に効果を上げたと考えられる。多様な年代層、特に若年層に民家園を周知し、入園につなげるような新たな広報手段の開拓等を検討するほか、生田緑地及び生田緑地内所在の各博物館施設との連携をより強化し、公園利用者・他館入館者を民家園に、また民家園入園者を他館への利用につなげ、相乗効果をもたらすような更なる工夫を期待する。市外はもとより、地元である川崎市民の入園者の増加を図ることを意識した広報活動についても、よく検討するよう求めたい。民家の旧所在地と連携した交流事業は、古民家の土地の記憶・魅力を想起させる催しであるばかりでなく、広報面でも相互に効果をもたらすと考えられることから、今後も積極的に取り組むことが望まれる。	A
----------------------	--	----------

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状： 来園者サービス施設として、救護室や授乳スペース等を整備し、休憩スペースの確保を進めている。オリジナルグッズの開発・販売や窓口業務改善に努めている。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、民家園に相応しい植栽や案内板の補修・増設、バリアフリー拡充等を行っている。また24時間人的警備により来園者と文化財の安全確保に努めている。

実施目標	中期目標(3年、H28まで)	分担	H27年度計画	H27年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者サービス施設の維持・整備	快適な施設環境の提供。休憩スペース確保。食事提供施設のサービス向上。	市・指	古民家床上の食事スペース提供継続。季節限定古民家カフェの継続実施。	古民家床上の食事スペース提供実施。カフェ計43日間営業(内2日間夜間公開時の特別営業) 来場者計2716人。休憩所ベンチ・テーブル修繕。	計画に対する達成度	経年劣化したベンチ修繕。カフェの平日金曜午後の営業と7月営業を新たに追加。
②敷地内環境の整備とバリアフリーの推進	植栽管理水準維持。ボランティアによる清掃・植栽管理の支援。展示通路・案内板・手すり・敷居スロープの整備。	市・指	古民家に合わせた植栽管理徹底。警備巡回報告による不具合箇所の早期把握。敷居スロープ1カ所増設(伊藤家)。園路改善と手すり設置のスケジュール検討。経年劣化箇所の早期修繕。	園路泥濘対策に人工芝マット設置。降霜対策に落ち葉の敷設。各村案内板補修。佐々木・江向家周辺への植栽実施。手すり・修繕。	計画に対する達成度	対応迅速化のため各棟に園路保守用具の保管場所確保。植栽管理は除草落ち葉掃き枝払い等が不十分。危険木伐採等植栽計画に基づく管理。
③来園者の安全確保と文化財の警備	文化財の破損・盗難・火災防止、来園者安全確保、案内等、質の高い警備の継続実施。	指	警備との連携確立。使い易いマニュアルへの常時更改。休園日訓練の継続実施。新防災システム習熟。	大雨、強風、降雪などの被害を未然に防ぐための連携実施。年末年始の責任者による巡回実施。休園日訓練の継続実施。	計画に対する達成度	園内巡回の継続実施。
④オリジナルグッズの開発と販売促進	魅力的なオリジナルグッズ開発。販売促進のためディスプレイ等改善。	市・指	ミュージアムショップの充実。	券売業務と物販作業の両立に向け効率化。民技会物販常設化。炉端の会有志の商品(竹の虫籠、和紙ランタン)販売開始。	計画に対する達成度	繁忙期の正門券売人員増員による円滑な対応。
⑤窓口(券売・インフォメーション)業務の質向上	効果的なインフォメーション業務実施。研修(接遇・博物館概要)の充実。	指	定期的研修実施。英語対応の強化。ミーティングでのミニ学習会継続実施。企画展の内部説明会実施。	英語学習会開催。災害時英語アナウンス原稿作成(非常ベル発報時、訓練実施時)。企画展内部説明実施。	計画に対する達成度	語学力向上。

外部評価 評定意見	入園者の安全・安心の確保は、ソフト面の取り組みはよくなされているが、ハード面の整備も不可欠である。近年の掘削工事の影響で、民家の庭の沈降による埋設設備の浮き上がりのほか、園路の損傷が著しく、降雨降雪後の状況は非常に悪い。工事監理の徹底のみならず、仕上げ仕様の在り方から検討すべきである。特に園路の再整備は、入園者の安全・快適な利用のために不可欠な喫緊の課題であるとの認識をもって、早急に取り組むよう求める。植栽の管理は、古民家の景観維持のためにも重要であるから、適切に取り組むこと。また、倒木落枝による文化財建造物や入園者への被害を未然に防ぐために、危険木の除去について関係部局と調整しながら、計画的に進めていくことが求められる。ミュージアムショップの充実は、入園記念として民家園の記憶を長く留めるのに資することから、民家園として相応しい形で、さらに進めることが期待される。	B
----------------------	---	----------

■各種統計 ※事業評価シート項目順

		平成27年度	平成26年度	平成25年度
1	企画展示室(山下家2F)入室者数 ※センサー数÷2	30,551人	27,835人	26,159人
2	企画展示解説回数(人数)	13回(160人)	12回(88人)	9回(85人)
3	受講者アンケートによる満足度	①-%②90%	①-%②87%	①64%②91%
4	解説・ガイド回数(参加者数)	351回(4,472人)	391回(5,095人)	355回(4,417人)
	内訳1) 民家解説	20回(416人)	18回(199人)	10回(201人)
	内訳2) 園内ガイド	225回(2,019人)	245回(2,100人)	228回(1,678人)
	内訳3) 団体ガイド ※英語ガイド含む	106回(2,037人)	128回(2,796人)	169回(2,538人)
5	催し物参加者数 ※資料7の夜間公開、船越の舞台公開、体験、こどもまつり、歌舞伎公演、サマーミュージアム、正月、旧所在地交流事業、芸能、その他事業の参加者数の合計。	15,137人	15,626人	10,860人
6	無料入園日入園者数 ※民家園まつり・多摩区民祭。	8,272人	11,440人	9,654人
7	ハンカチ染め他体験人数	3,165人	2,626人	2,217人
8	見学学校数 ※幼～高校、学校体験除く	119校	127校	102校
9	学校体験実施校数	70校(市立68、市内私立0、市外2)	70校(市立65、市内私立0、市外5)	74校(市立69、市内私立0、市外5)
10	床上公開棟数	1,123棟	1,098棟	1,109棟
11	床上公開利用者人数 ※団体除く	147,436人	147,325人	118,055人
12	床上公開利用団体数	1,013団体	751団体	651団体
13	炉端活動延人数 ※炉端の会	4,506人	4,353人	4,266人
14	来園者アンケート満足度	93.0%	93.0%	96.7%
15	歳出に対する歳入の割合 ※()内は特殊経費・国庫補助金を含む場合(註6)	15.9%(12.9%)	16.1%(15.3%)	15.4%(17.1%)
16	総入園者数(有料入園者数)	118,887人(56,422人)	124,527人(54,459人)	109,710人(48,094人)
17	年間パスポート売上枚数	1,192枚	1,482枚	1,369枚
18	年間パスポート売上枚数内訳 1000円券/600円券	982枚/ 210枚	1,204枚/ 278枚	1,053枚/ 316枚
19	年間パスポート入園者数 / 平均利用回数 / 割合	4,387人/3.68回/ 2.7%	4,908人/ 3.31回/ 3.0%	3,852人/ 2.81回/ 3.5%
	内訳) 年間パスポート入園者 1000円券/600円券	3,730人/ 657人	4,078人/ 830人	2,944人/ 908人
20	園HPアクセス数	818,303件	696,601件	[26年度からの計算式]436,273件 [25年度までの計算式]134,900件
21	外国人入園者数	5,378人	5,169人	3,539人
22	園英語HPへのアクセス数	45,991件	29,124件	[26年度からの計算式] 16,156件 [25年度までの計算式] 6,042件
23	市政だより掲載依頼件数(内掲載件数)	122件(38件)	103件(23件)	127件(25件)

No	指定区分	建造物名称	葺材	修理履歴	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
1	重要文化財	旧伊藤家住宅	茅	S40移、S50屋(部分)、S54部、S62屋(部分・棟)、H3屋(部)、H7屋(部)、H13屋・部、H22屋(部)						葺替
2	重要文化財	旧佐々木家住宅	茅	S42移、S48屋(部・庇)S55屋(部・棟)・部、S59部、S63屋(部・棟)、H2屋(庇)、H3屋(庇)H6部(不陸補正)、H9屋(部・棟)、H21屋・部						
3	重要文化財	旧江向家住宅	茅	S42移、S48屋(棟)、S51屋(棟・窓屋根)、S54災、S55屋(部)、S56屋(部・窓)、S58屋・部、H5屋(部・棟)、S8屋(窓)、H10屋・部、H21屋(部)					葺替	
4	重要文化財	旧北村家住宅	茅	S42移、S54災(棟)、S60屋・部、H6屋(部)・部、H11屋(部)、H12屋(部)、H22屋(部)						葺替
5	重要文化財	旧作田家住宅	茅	S43移、S52屋(棟)、S54災、S59屋・部、H6屋(部)・部、H12屋(部)					差茅	
6	重要文化財	旧太田家住宅	茅	S44移、S52(部・棟)、S57屋・部、H3～H4焼損復旧、H8屋(部)、H12屋(部)、H17屋(部)					耐+葺替	
7	重要文化財	旧工藤家住宅	茅	S45～S46移、S56屋・部、H3屋(部)、H6屋(谷)、H8屋(谷)、H11屋(部)・H21屋(部)、H23屋 「便所」S45新築、S59屋、H5屋(部)、H26屋						
8	県指定重要文化財	旧三澤家住宅	板	S46移、S51、S55、H4屋、H17屋	耐+葺替	同左				
9	県指定重要文化財	旧山田家住宅	茅	S60移、H5屋(部)、H17屋 「便所」S60新築、H8屋						
10	県指定重要文化財	旧野原家住宅	茅	S41移、S56屋、H7屋、H17屋(部)、H24屋(部)						
11	県指定重要文化財	旧鈴木家住宅	茅	S45移、S59屋、H4屋(部)、H21屋						
12	県指定重要文化財	旧広瀬家住宅	茅	S43移、S54、S59、H5屋、H19屋(部)			葺替			
13	県指定重要文化財	旧岩澤家住宅	茅	H1移、H7屋(部)H18屋(部)		葺替				
14	県指定重要文化財	旧菅原家住宅	茅	S58移、H6屋(部)、H14屋(部)、H24屋						
15	県指定重要文化財	旧清宮家住宅	茅	S40移、S48、51屋(部)、S58屋、H5屋(部)、H18屋(部)				葺替		
16	市指定	蚕影山祠堂	茅	S44移、S51S60屋、H6屋(部)、H26屋						
17	市指定	水車小屋	茅	S56移、H6屋(部)、H22屋(部)	葺替					
18	市指定	木小屋	杉皮	H5移、H23屋						
19	県指定重要文化財	井岡家住宅	瓦	S61移						
20	県指定重要文化財	山下家住宅	茅	S45移、H8屋、H23屋(部)			耐+差葺	同左		
21	市指定	沖永良部の高倉	茅	S44移、H15屋、H22屋(部)			差茅			
22	市指定	船頭小屋	杉皮	S49移築、S60屋、H12屋、H24屋						
23	市指定	佐地家共待	瓦	S62移、H8部						
24	国重有民	船越の舞台	瓦	S47移、S58屋(部)、H8屋、H10屋(部)、H24屋(部)						
25	市指定	原家	瓦	H2移、H3部、H15部						
		※修理履歴について※ 主に屋根に係わる修理履歴のみ記載。小規模自費修理は除く。屋(部)＝屋根部分修理を表わす。屋(部)・部＝屋根部分修理とその他の部分修理を表わす。			耐は耐震補強工事を表わす 耐震診断の実施及び結果により変更の可能性がある					

日本民家園民俗部門整備計画

1. 現状

(1)整理・展示

平成15年度(2003)より移築民家寄贈資料の整理・目録作成・企画展示を連動させて進め、作業を完了した。同時に、民家の旧所蔵者を訪ねて衣食住・生業等について聞き取りを行い、調査報告を目録に合冊して刊行した。さらに、目録作成時の電子データを活用し、資料のデータベース化も進めている。

(2)保存

当園の収蔵庫は所蔵点数に比べて狭く、資料の大多数は古民家の屋根裏等に保管されている。保存環境は良好とはいえないが、改善を重ね、資料を直置きしないよう棚を設け、防塵用のクロスで覆う作業を進めている。また、清掃の委託範囲も屋根裏に広げ、ボランティアとも協働して清浄に保つよう工夫を重ねている。収蔵庫については平成17年度(2005)に酸化プロピレンによる全室燻蒸を行ったあと、新たに収蔵する資料については二酸化炭素ガスにより殺虫処理を行っている。また棚を増設して収容力を高め、同時に耐震補強も行った。

(3)収集

収蔵スペースがないため、現在積極的な収集活動は行っていない。

2. 基本方針

(1)整理・展示

民家を主とし、民具の展示はそこでの生活を知るための補助と位置づける。このため民家内には、その民家の資料を、その資料が本来あるべき位置に展示することを基本とする。

(2)保存

野外博物館という特性をよく理解し、民家で本来行われていたメンテナンス方法を取り入れながら、資料の保存環境の向上に努める。

(3)収集

川崎市には、市域の資料全般を収集対象とする博物館として市民ミュージアムがある。このため当園は古民家の博物館としての性格を活かし、建築に関わる資料を収集対象とする。

この他、各古民家の展示充実を図るため、旧所蔵者の資料は上記以外のものについても収集対象とする。

3. 今後の計画

(1)整理・展示

昔の暮らしを伝えるべく、聞き取り調査の成果に基づき古民家内部の展示を整備していく。同時に本館常設展示室の1室を企画展示室に改装し、テーマ展示を行っていく。また、外国人利用者の増加に対応し、多言語版音声ガイドの導入を目指す。

(2)保存

耐震性能向上のため、資料の屋根裏収納を解消させていく。

(3)収集

収蔵スペースの都合上積極的な収集活動は行えないが、古民家の旧所蔵者から話があった場合は対応する。また、建築関係の資料については、作業工程を理解する上でまとまりのあるものについては収集していく。

H27.2

日本民家園民俗部門展示出版計画

年度		企画展タイトル	刊行物
15年度	前期	展示室整備	—
	後期	「芝居の立つ町」—船越の舞台のふるさと—	『日本民家園収蔵品目録1 旧船越の舞台』
16年度	前期	「家の神々」—作田家の守り札—	『日本民家園収蔵品目録2 旧作田家住宅』
	後期	「蚕影山」—養蚕信仰の世界—	『日本民家園収蔵品目録3 船頭小屋・蚕影山祠堂』
17年度	前期	「伊那の栗屋」—信州・三澤家のくらし—	『日本民家園収蔵品目録4 旧三澤家住宅』
	後期	「清宮家」—登戸に生きる—	『日本民家園収蔵品目録5 旧清宮家住宅』
18年度	前期	「山と風」—甲州・広瀬家のくらし—	『日本民家園収蔵品目録6 旧広瀬家住宅』
	後期	「雪に暮らす」—川崎で出会う北国—	『日本民家園収蔵品目録7 旧菅原家住宅』
19年度	前期	「むかしむかしかわさきで」—民家園のはじまり・重文伊藤家住	『日本民家園収蔵品目録8 旧伊藤家住宅』
	後期	「千曲川のほとりで」—佐久の染物屋・佐々木家—	『日本民家園収蔵品目録9 旧佐々木家住宅』
20年度	前期	「川崎の近代和風建築」—旧原家住宅—	『日本民家園収蔵品目録10 旧原家住宅』
	後期	「南部曲屋」—重文・工藤家住宅の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録11 旧工藤家住宅』
21年度	前期	「貞享四年」—年号のある民家・重文北村家住宅—	『日本民家園収蔵品目録12 旧北村家住宅』
	後期	「宿場の家」—奥州街道・鈴木家—	『日本民家園収蔵品目録13 旧鈴木家住宅』
22年度	前期	「登戸の左官」	—
	後期	「合掌造り」—野原家の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録14 旧野原家住宅』
23年度	前期	「神奈川の村」—愛甲郡清川村・岩澤家—	『日本民家園収蔵品目録15 旧岩澤家住宅』
	後期	「奈良の町屋」—旧井岡家住宅—	『日本民家園収蔵品目録16 旧井岡家住宅』
24年度	前期	「常陸の民家」—旧太田家住宅—	『日本民家園収蔵品目録17 旧太田家住宅』
	後期	「白川の郷」—旧山下家住宅—	『日本民家園収蔵品目録18 旧山下家住宅』
25年度	前期	「建築史家・大岡實の建築」※建築部門で担当	※出版物については資料5参照
	後期	「五箇山」—旧江向家住宅—	『日本民家園収蔵品目録19 旧江向家住宅』
26年度	前期	「大工さんの道具箱」	—
	後期	「ダムに沈んだ村」—越中桂・旧山田家住宅—	『日本民家園収蔵品目録20 旧山田家住宅』
27年度	前期	「むか〜しむかしの道具たち」—昔話が伝えるくらし—	解説図録
	後期	「家で生まれる、家と育つ」—子供の習俗とくらし—	解説図録 『日本民家園収蔵品目録21 佐地家供待・水車小屋・高倉・木小屋調査報告』
28年度	前期	「ふしぎ古民具大集合」	解説図録
	後期	展示室整備	『シリーズくらしと家1 中原街道の醬油屋』(予定)
29年度	前期	「50周年記念展1」	解説図録
	後期	「50周年記念展2」	解説図録 『シリーズくらしと家2』

H28.3

民家園叢書一覧及び計画

日本民家園叢書1	『日本古建築の特質・日本の塔』 関口欣也・濱島正士	平成10年9月
日本民家園叢書2	『日本の仏堂・桂離宮とその文化的背景』 鈴木嘉吉・斎藤英俊	平成13年3月
日本民家園叢書3	『多摩丘陵の農家 1955年細山 ー日本民家園の発端ー』 関口欣也	平成15年3月
日本民家園叢書4	『日本民家園の雪囲い』 監修/上野勝久・野呂瀬正男 編集/大野敏・小坂広志・砂川康子・増渕和夫	平成15年3月
日本民家園叢書5	『土蔵の屋根修理を通してみた茅葺の地域性 川崎市麻生区飯草家土蔵の事例から』 大野敏	平成17年3月
日本民家園叢書6	『日本民家園草創期の記憶 ー旧三澤家住宅・旧工藤家住宅ー』 野呂瀬正男	平成18年3月
日本民家園叢書7	『日本民家園草創期の記憶2 ー沖永良部島の高倉・蚕影山祠堂・旧山下家住宅ー』 野呂瀬正男	平成18年12月
日本民家園叢書8	『日本民家園草創期の記憶3 ー旧鈴木家住宅・旧船越の舞台ー』 野呂瀬正男・田代勉・小坂広志	平成20年3月
日本民家園叢書9	『日本民家園草創期の記憶4 ー旧井岡家住宅・旧佐地家の門侍・水車小屋ー』 野呂瀬正男	平成22年3月
日本民家園叢書10	『民家は何の木で出来ているか』 中尾七重・布谷知夫	平成23年3月
日本民家園叢書11	『日本民家園草創期の記憶5 ー旧菅原家住宅ー』 野呂瀬正男	平成25年3月
日本民家園叢書12	『日本民家園草創期の記憶6 ー旧山田家住宅・園内管理ー』 野呂瀬正男	平成28年3月
日本民家園叢書13	『民家は何の木で出来ているか2』 中尾七重・布谷知夫	平成29年3月(予定)

H28.3

大岡文庫関係出版物一覧及び計画

大岡文庫目録	『日本民家園大岡文庫蔵書目録』	平成7年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅰ』	平成10年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅱ 図面資料及び摺拓本資料目録』	平成12年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅰ』	平成14年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(新築設計関連資料)』	平成21年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅰ』	平成15年3月
大岡展関連出版物	『建築史家・大岡實の建築』	平成25年7月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅱ』	平成27年3月
大岡展関連出版物	『建築史家・大岡實の建築』(増刷)	平成28年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(大学関連)』	(未定)
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅲ(プリント写真)』	(未定)

H28.3

日本民家園総合防災整備事業計画

<p>1 目的:文化財建造物を火災の被災から予防又は最小限に防護するため。また大地震時に来園者の安全をはかるため。 2 理由: (1)開園45年を超え、消防施設の著しい老朽化と建造物の位置する高低差等から二件以上の建造物への消火能力に欠けること。 (2)開園以来、水道配管の取り替え等を行っていないことに伴う老朽化、移築毎の配管の接続等から漏水事故が続いてきていること。 (3)職員の削減、管理面積の規模等から、旧式の防災設備では消火や入園者の避難誘導等への的確な対応が難しいこと。 (4)古民家の耐震性能を検討し必要な場合は耐震補強工事を施す。鈴木家・三澤家・太田家・山下家について基礎診断をした結果、耐震補強が必要である。また、その他の古民家も予備診断の結果必要なものは基礎診断を実施する予定である。 (5)工事については国または県より補助金が受けられる場合がある。</p>												
年 度		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	備考
防災	水道設備 自火報等	調査・基本設計	実施設計	貯水槽	消火配管	消火配管 監視装置	監視装置 ・自火報	ポンプ設置 消火設備 完成	旧消火設備 撤去設計	旧消火設備 撤去		
	園路・ 崖改修			三澤水車小屋 園路改修		鈴木崖補 強工事						
古民家耐震	①＝基礎 診断 ②＝設計 ③＝工事			該当棟の 予備診断	①鈴木家 ・三澤家	①太田家 ・山下家 ②三澤家 基本・鈴木 家実施	②三澤家 耐震委員 会 ③鈴木家	②三澤家 実施・山 下家基本	②山下家 実施	③三澤家	①菅原家 ②太田家 基本 ③三澤家 ④山下家	以後、順 次実施

H28.3

事業評価シート 資料7 日本民家園 平成27年度事業報告

展示

★ 今年度初めてのもの

平成28年3月末現在

	事業名	日程	会場	内容等	参加者・回数
企画展示	「ダムに沈んだ村」	1/4-5/31	山下家2階	旧山田家住宅をテーマとした展示 展示解説月2回 関悦子(園職員)	解説117人
	★「むか〜しむかしの道具た	7/1-11/29		昔話に登場する道具の展示 展示解説月1回 道具カード配布 小澤葉菜(園職員)	解説12人
	★「家で生まれる家で育つ」	1/5-5/31		子供の成長をテーマとした展示 解説月1回 関悦子(園職員)	解説31人
	★「古民家なんだろう」			触覚・聴覚・嗅覚で楽しむ子供向けの体験型展示	—
常設展示	文化財建造物展示	通年	園内	移築・復原した古民家等25件	—
	本館展示		本館展示室	民家及び民家の生活に関する展示	—
	石造物展示		園内	園路沿い 道祖神・庚申塔・馬頭観音等	—
	民俗資料展示		各古民家	生活用具・農具等	—
展示事	年中行事展示	毎月	北村・清宮・原・蛭影山・作田	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月飾り等古民家の年中行事を展示	—
	雪囲い	11/28-3/20	菅原家	雪と寒さを防ぐ雪囲いを再現	—
工芸館	藍T	5/13-6/14	伝統工芸館	型染め、絞り染めによる藍染めTシャツの展示	—
	藍のはなし	6/24-8/2		藍染めの歴史、世界の藍染め、藍の染料ができるまで等の展示	—
	講座作品	初級8/5-9/6、中級10/7-11/8		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示	—
	絞り	9/9-10/4		さまざまな絞りの紹介と作品展示	—
	干支	11/25-1/17		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示	—
	ひな祭り	1/27-3/6		節句をテーマにした藍染め作品の展示	—
	端午の節句	3/16-5/8			—
公開	床上公開	毎日(8・12月除く)	3-5棟	囲炉裏に火を入れ、床上部分を公開 炉端の会	147,436人
	夜間公開	11/21・22	宿場・信越	ライトアップ、昔話、夜なべ仕事 炉端の会・民具製作技術保存会・みちのくむかしがたり	791人
	旧船越の舞台特別公開	5/16-6/7,9/19-10/12の土日祝	船越の舞台	国指定重要有形民俗文化財の内部公開 炉端の会	2,983人
民技会	民具製作実演	不定期日曜	園内	わら・竹細工、機織り 民具製作技術保存会	124回
	作品展示・頒布会	5/3-6、9/27-11/22	太田、原家ほか	頒布会は日祝のみ 民具製作技術保存会	頒布14回

教育普及活動

学習講座	300歳の民家	5/17,24	ビジターセンター・園内	外山明彦(園職員)	4人
	★住まいの形が変わる理由	12/6・13		安田徹也(安田工務店)	36人
	★子供を育む家と村	2/20・27		服部比呂美(國學院大學兼任講師)、関悦子(園職員)	21人
	ボランティア講座	1/16,23,30,2/6		原家ほか	新規会員向け、畑山拓登・原末織(園職員)
体験講座	わら細工	5/10,9/27,11/22,12/20	原家、作田家	ぞうり、わらじ、釜しき、しめ縄(たまかざり) 民具製作技術保存会	62人
	竹細工	4/19,6/7,10/18		六つ目かご、菱四つ目かご、六海波花かご 民具製作技術保存会	72人
	はた織り	5/31,6/7・14,11/8		裂き織り、綿の実から糸まで(糸紡ぎ) 民具製作技術保存会	36人
	親子体験	7/25,26,8/9		あしなな、サッカーボール、簡易機 民具製作技術保存会	32組
	大和なでしこ入門講座	7/12	原家	浴衣着付け 着付屋着楽	11人
工芸館	しぼり染め	6/13,14,10/24・25	伝統工芸館	初級、中級(各2回連続)	26人
	型染め	7/25・26,9/26・27,11/14・15		初級、中級、干支(各2回連続)	54人
	ワークショップ	4/18,19,24,5/31,8/23,10/29,1/29		こいのぼり、Tシャツ、ストール、藍の生葉染め、風呂敷	98人
体験	お蚕さまの絹糸	7/5	野原家	座繰り実演、ずりだし体験 民具製作技術保存会	60人
	小正月モノづくり	1/10	北村家	ケズリカケ等の飾り製作実演とまゆ玉団子飾り体験 民具製作技術保存会	39人
	お月見をしよう	9/21	北村家、科学館	月見団子作り、科学館ではプラネタリウムと月の観察 炉端の会他	130人
	実演大工仕事、大工入門	10/25	作田家	昔の大工仕事実演と大工仕事の体験 神奈川土建川崎多摩支部	180人
	★抹茶体験	3/12	佐々木家	お点前の体験 静楽会	16人
	天秤棒体験	日曜不定期	北村家	天秤棒で肥桶を担ぐ 豊島秀雄(園職員)	468人
	★古民家なんだろう	1/31,2/13,3/20	井岡家・佐々木家他	あかり体験・ほうき作り・縄ない 関悦子・畑山拓登・小澤葉菜(園職員)	183人

ま つ ど も	★こども民家園検定	4/29-5/6	園内	子供向けなぞとき体験 炉端の会	46人
	★草バッタを作ろう	4/29	佐々木家	シュロの葉を利用した草玩具づくり、園内の草花を用いた遊び 炉端の会	304人、体験6組
	巨大かぶとを作ろう	5/5	作田家	折り紙で作るかぶれる兜 炉端の会	—
	むかし遊び	5/3・4・5	作田家ほか	輪投げ・竹馬・竹ポックリ・折り紙・お手玉等 民具製作技術保存会	593人
	民具着用体験	5/3・4	作田家	笠や蓑の体験 民具製作技術保存会	—
ま つ り 園	無料開園	11/3	全園		5,623人
	農村歌舞伎	11/3	船越の舞台	「絵本太功記 二段目本能寺の場」秋川歌舞伎あきる野座	307人
	伝統技術実演	10/31, 11/1・3	佐々木家・佐地家	堂宮彫刻、彫金、市松人形、水引細工など 伝統技術技法を保存継承する会ほか	—
緑 地	生田緑地サマーミュージアム	8/23	緑地全体	納涼民家園(打ち水・井戸汲み・水鉄砲・洗濯板で洗濯・蚊帳・民家でごろ寝・風鈴展示・昔話)、フロンターレ共催クイズラリー、浴衣・甚平で入園無料 炉端の会、民具製作技術保存会、日本民話の会、川崎フロンターレ	入園674人
	多摩区民祭	10/17	緑地全体	無料開園日 骨董市(旧所在地交流事業同時開催)	2,649人
正 月	お正月を遊ぶ	1/5	作田家他	正月遊び、甘酒、むかし話、日本各地の注連飾り展示 着物で入園無料 炉端の会、民具製作技術保存会、多摩区ストーリーテリングおはなし万華鏡	入園792人
	獅子舞	1/5	佐々木家	宮内祭囃子保存会	—
交 流 所 在 地 業	五箇山がやってくる	5/30・31、10/17・18	佐々木家他	世界遺産登録20周年記念式典、夜間公開、民俗芸能公演、物産販売 南砺市観光協会他	2,499人
	甲州市のころ柿	11/14	佐々木家・江向家・本館他		13人
	★古民家で楽しむ甲州ワイン	3/20	原家	甲州市・甲州市観光協会	61人
	桃の花配布		本館		—
芸 能	人形浄瑠璃	9/19	工藤家	「絵本太功記 尼崎の段」相模人形芝居下中座	171人
	岩手の郷土芸能	3/6	佐々木家	みかぐら・荒崩し舞(神楽乃朋友)、中野七頭舞(中野七頭舞愛好会) 物産販売同時開催	550人
そ の 他 催 事	むかし話	奇数月2回、偶数月3回	作田家他	おはなし万華鏡、みちのくむかし語り、大平悦子氏、日本民話の会	1,100人
	ベーゴマ大会	4/29、9/6、1/10	広瀬家	入賞者にはオリジナルベーゴマプレゼント	79人
	民家園防火デー関連事業	7/19	ピシターセンター・太田家・原家	太田家焼損小屋公開と焼損復旧工事映像上映	上映会15人
	お茶会	5/6・9、10/24、11/1	佐々木家	川崎市茶華道協会、内田社中・川崎北高校茶道部、静楽会	367人
ガ イ ド 説	古民家カフェ「陣屋荘」	4・5月、9-11月(土日祝)	原家	古民家の座敷を利用したカフェ	2,716人
	民家解説(建築・★暮らし)	月2回	園内	1時間で1つの村を案内 外山明彦・渋谷卓男(園職員)	416人
	園内ガイド	通年	園内	土・日・祝は午前と午後、平日は午後 炉端の会	2,019人
学 校 連 携	団体ガイド	年間	園内	団体の希望に応じ園内をガイド(日本語・英語) 炉端の会	2,037人
	学校体験学習	年間	園内	大八車・井戸汲み・石臼・天秤棒の体験 園職員	70校
	学校見学(体験学習なし)	年間	園内		119校
博 物 館 携	博物館実習	5月-1月	園内	5回、各10日間	17校26人

調査研究・広報・施設管理

調 査 研 究	移築民家旧所在地調査	沖永良部の高倉
	収蔵資料整理	山下家3階資料、大岡資料(建築)
	刊行物	『収蔵品目録21 佐地家門・供待、水車小屋・高倉・木小屋』『叢書12 日本民家園草創期の記憶6 旧山田家』★『むかへしむかしの道具たち』★『家で生まれる、家と育つ』建築史家・大岡實の建築』(増刷)★『炉端の会20周年記念誌』
広 報	印刷物	民家園だより、催し物カレンダー、学校向け優待券、ポスター、各種チラシ
維 持 設	古民家等保存修理工事	屋根/水車小屋・作田家・清宮家・太田家等、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修、
	園内整備	新総合防災システム(配管撤去実施設計)、耐震関係(山下家実施設計)、植栽整備、危険木伐採、ベンチ・案内板補修等

評価者(川崎市社会教育委員会議日本民家園専門部会委員)

選出区分	氏名	現職	備考
学識経験者	石野 律子	(民俗学)	
		神奈川県立日本常民文化研究所客員研究員	
	近藤 光雄	(建造物保存修理)	
		文化財建造物保存技術協会常務理事	
	大野 敏	(建築史)	副会長
		横浜国立大学教授	
	菅野 和郎	(博物館学)	会長
		玉川大学准教授	
学校教育	小島 康宏	小学校社会科教育研究会会長	
		岡上小学校長	
	長谷川 雅之	中学校社会科教育研究会副会長	
		菅生中学校長	
教家庭	牧田 伸子	NPO法人ままとんきっず理事	
教社会	野田 滋郎	炉端の会会長	
公市募民	山口 桂子	公募委員	
	吉澤 喜美子	公募委員	

評価経過

開催日	内容
平成27年3月7日(土)	平成26年度第4回日本民家園協議会:27年度事業計画検討・確認
平成27年5月24日(土)	平成27年度第1回日本民家園協議会:27年度事業報告
平成27年7月18日(土)	平成27年度第1回日本民家園部会:27年度事業報告
平成27年11月8日(日)・15日(日)	平成27年度第2回日本民家園部会:園内視察・質疑応答
平成28年3月19日(土)	平成27年度第3回日本民家園部会: 27年度評定意見検討・了承 その後最終的な文言調整を経て確定